

VHDLの基本記述

例題1:AND回路の記述1

例題2:AND回路の記述2

例題1

And_Sample1

論理積(AND)を行う回路

VHDLの構成

- library部
- entity部

回路を出入りする

信号を定義

- architecture部

回路の動作を記述

VHDL

library部

entity部

architecture部

例題1

library部

```
library IEEE;  
use IEEE.std_logic_1164.all;  
use IEEE.std_logic_arith.all;  
use IEEE.std_logic_signed.all;
```

ライブラリ IEEE : 標準的な各種宣言

std_logic_1164 : 基本関数

std_logic_arith : 算術演算

std_logic_signed : 符号付き演算

例題1

entity部(VHDL)

```
entity And_Sample1 is
```

port (

entity名

信号の向き

A : in std_logic;

B : in std_logic;

Y : out std_logic

A , B : in std_logic;

…と書いててもよい

);

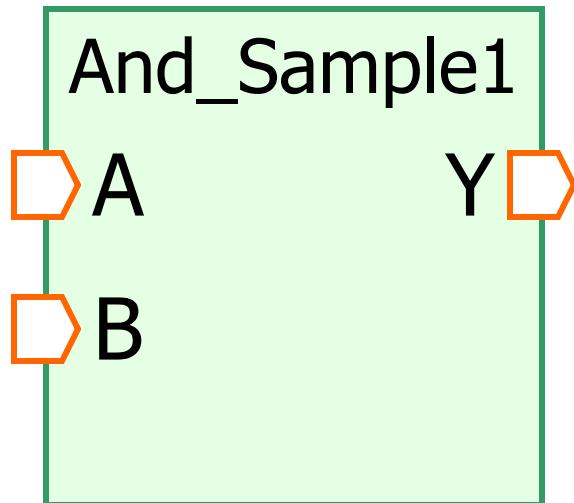
信号名

データ・タイプ

```
end And_Sample1;
```

例題1

entity部(モデル)



entity宣言イメージ
何の機能をする回路かは
この段階では不明だが
回路の名前は何で、
どのような型の信号が
入力・出力・入出力されるか
などを定義する

例題1

architecture部(VHDL)

```
architecture RTL of And_Sample1 is
```

```
begin
```

```
Y <= A and B;
```

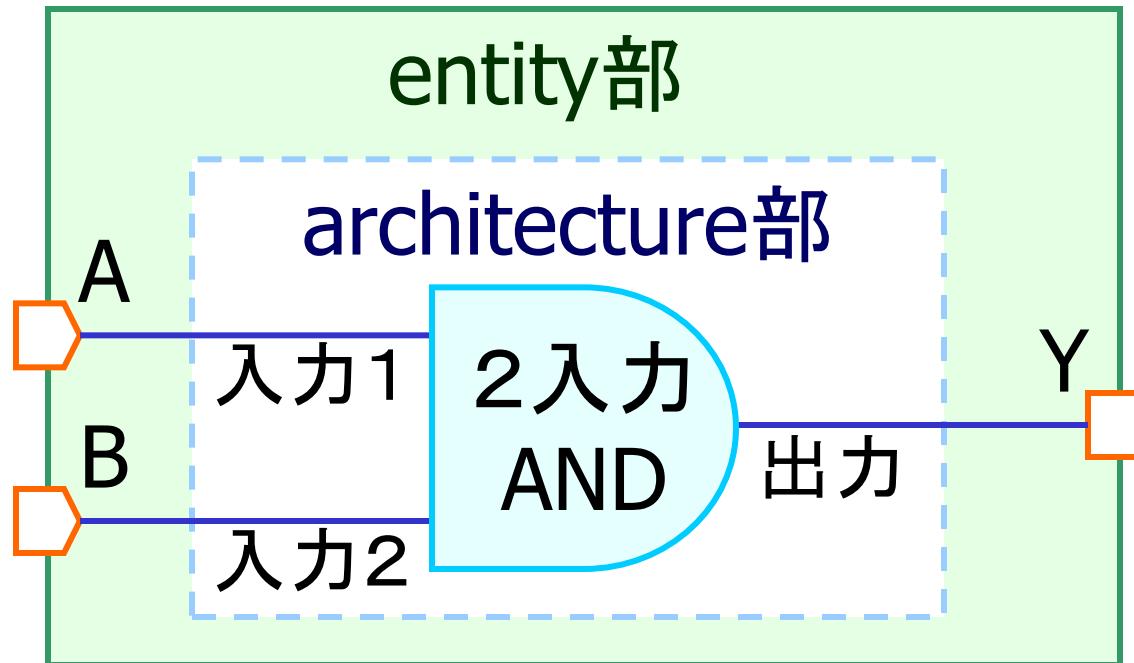
```
end RTL;
```

entity名

architecture名

例題1

architecture部(モデル)

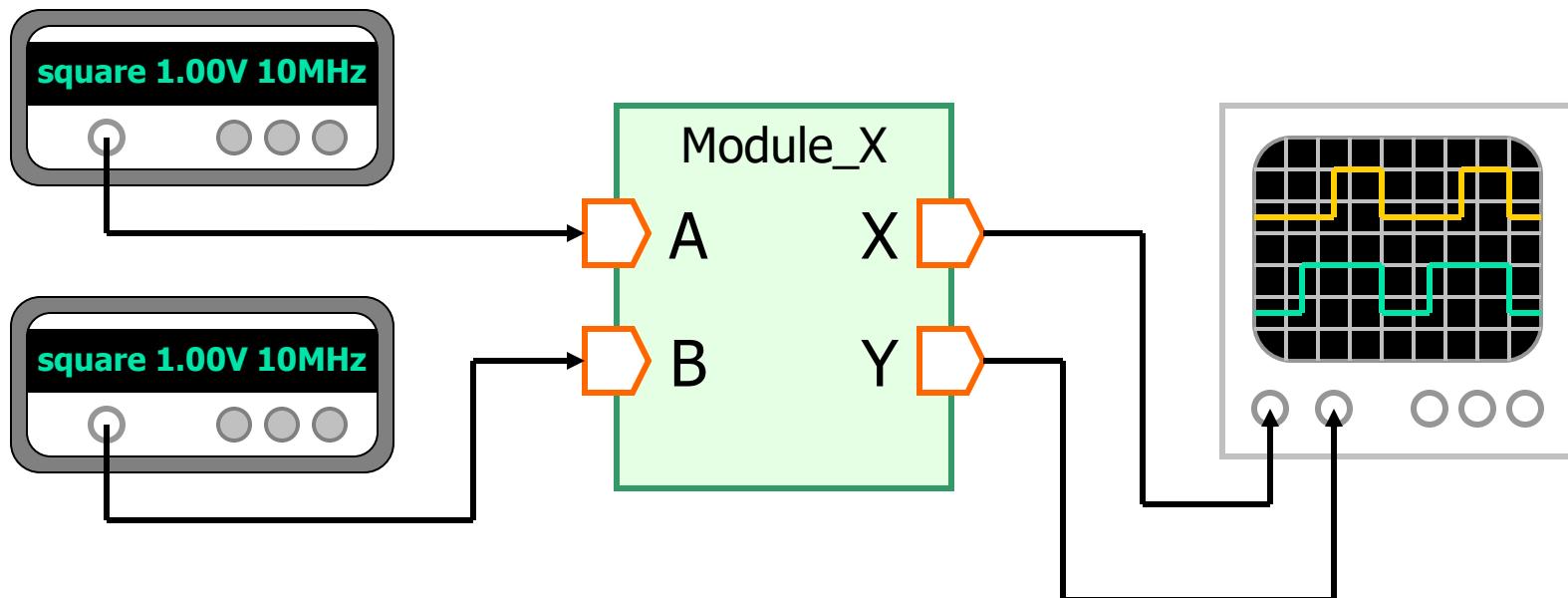


回路としてどのような中身になっているか、
どのような働きをするのかを定義する

例題1

テスト・ベンチ(tb_〇〇)

シミュレーションのための、
「回路に信号を入力するための」回路
シミュレーション用で、FPGAには搭載しない



例題2

And_Sample2

論理積(AND)を行う回路

- 回路から出力される結果は

And_Sample1.vhdと同じ

- 異なるのは回路動作の記述方法

2の方の記述方法: **動作記述**

- 回路がどのように振舞うかを

文章的(プログラム的)に表す

- 効率的に回路の動作を表すことができる

例題2

architecture部 : process文

process文ラベル

LOGICAL_AND : process(A, B)

begin

センシティビティ・リスト

if ((A = '1') and (B = '1')) then

.....

end if;

end process;

if文などの条件分岐文
が利用可能になる

例題2

余談(process文:順次処理)

```
INPUT_A : process  
begin
```

```
    if done = false then
```

```
        a <= '0';  
        wait for 100 ns;  
        a <= '1';  
        wait for 100 ns;
```

上から順に
処理される

```
    else
```

```
        wait;
```

```
    end if;
```

```
end process;
```

※センシティビティ・リストと
wait文は同時使用できない

例題2

動作記述

```
if ((A = '1') and (B = '1')) then  
    Y <= '1';
```

```
else  
    Y <= '0';  
end if;
```

その他の場合

		真理値表	
A	B	Y	
0	0	0	
0	1	0	
1	0	0	
1	1	1	

信号A、Bの
両方が'1'の場

例題2

動作記述(コメント・アウト部)

```
-- if ((A = '0') or (B = '0')) then
--   Y <= '0';
-- else
--   Y <= '1';
-- end if;
```

コメント

その他の場合

真理値表

A	B	Y
0	0	0
0	1	0
1	0	0
1	1	1

信号A、Bのうち
片方が'0'の場
合